

平成20年9月の結果 (二人以上の世帯)

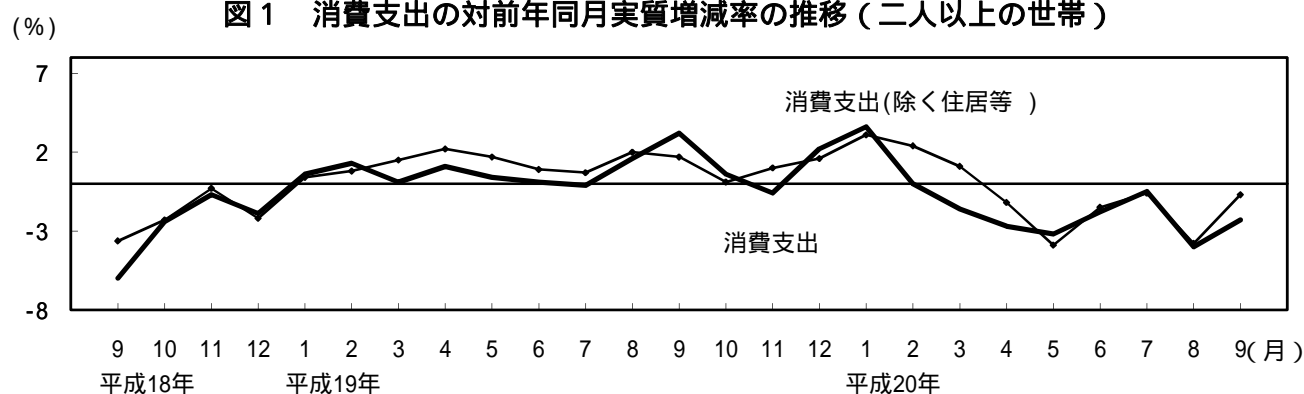
二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり 281,433 円
 前年同月比 実質 2.3%の減少 前月比(季節調整値) 実質 1.7%の増加
 消費支出(除く住居等)は、
 前年同月比 実質 0.7%の減少 前月比(季節調整値) 実質 3.3%の増加
 うち勤労者世帯の実収入は、
 前年同月比 実質 2.0%の減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

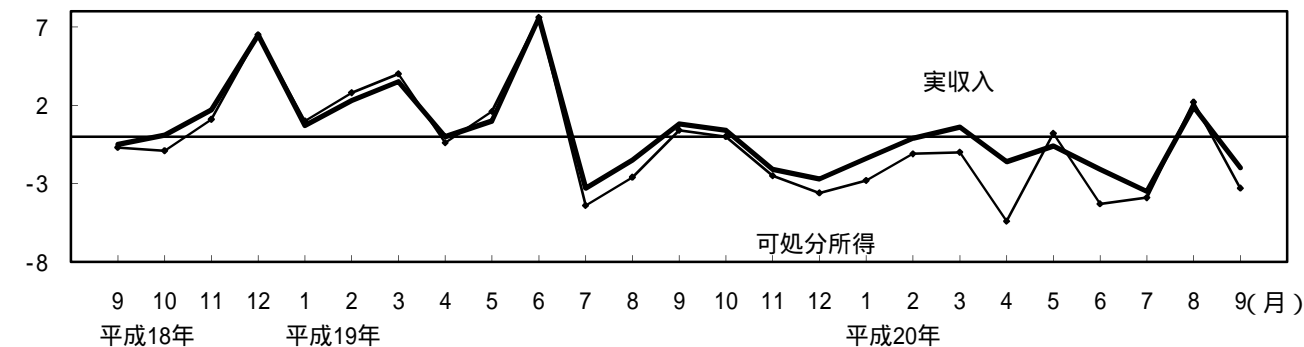
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	平成19年				平成20年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費支出	3.2	0.6	-0.6	2.2	3.6	0.0	-1.6	-2.7	-3.2	-1.8	-0.5	-4.0	-2.3
消費支出(除く住居等)	1.7	0.1	1.0	1.6	3.1	2.4	1.1	-1.2	-3.9	-1.5	-0.6	-3.8	-0.7

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成19年				平成20年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実収入	0.8	0.4	-2.1	-2.7	-1.4	-0.1	0.6	-1.6	-0.6	-2.1	-3.5	1.9	-2.0
可処分所得	0.4	0.0	-2.5	-3.6	-2.8	-1.1	-1.0	-5.4	0.2	-4.3	-3.9	2.2	-3.3
消費支出	5.5	2.2	-1.5	1.8	3.0	1.4	-0.2	-0.6	-0.9	0.3	-0.1	-3.1	-3.4
平均消費性向*	4.1	1.8	0.8	2.5	5.1	1.8	0.7	4.4	-1.0	2.4	2.6	-4.4	-0.1

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成20年9月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	281,433	0.0	-2.3	-2.3		7 か月連続の実質減少
食 料	67,074	-0.9	-3.8	-0.91	<減 少> 調理食品,魚介類など	7 か月連続の実質減少
住 居	16,054	-7.6	-8.2	-0.51	<減 少> 設備修繕・維持,家賃地代	2 か月連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	19,897	2.3	-6.3	-0.44	<減 少> 電気代,ガス代など	6 か月連続の実質減少
家具・家事用品	9,690	9.3	8.9	0.28	<増 加> 家庭用耐久財,寝具類など	2 か月ぶりの実質増加
被服及び履物	10,021	1.7	1.2	0.04	<増 加> 洋服,和服など	2 か月ぶりの実質増加
保健医療	11,831	-5.8	-5.9	-0.26	<減 少> 保健医療サービス	5 か月連続の実質減少
交通・通信	38,994	5.6	1.7	0.23	<増 加> 通信	2 か月連続の実質増加
教 育	14,686	2.7	2.1	0.11	<増 加> 授業料等	2 か月ぶりの実質増加
教養娯楽	31,080	7.7	8.0	0.82	<増 加> 教養娯楽サービス,教養娯楽用耐久財など	2 か月ぶりの実質増加
その他の消費支出	62,106	-5.3	(-7.5)	(-1.75)	<減 少> こづかい,交際費など	6 か月連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

交際費	[-0.78]	贈与金
設備修繕・維持	[-0.47]	設備器具,修繕材料
保健医療サービス	[-0.35]	他の入院料*, 歯科診療代
自動車等関係費	[-0.22]	自動車購入
調理食品	[-0.20]	うなぎのかば焼き,冷凍調理食品
電気代	[-0.19]	
魚介類	[-0.16]	まぐろ,さんま
外食	[-0.16]	和食,すし(外食)

< 増加項目 >

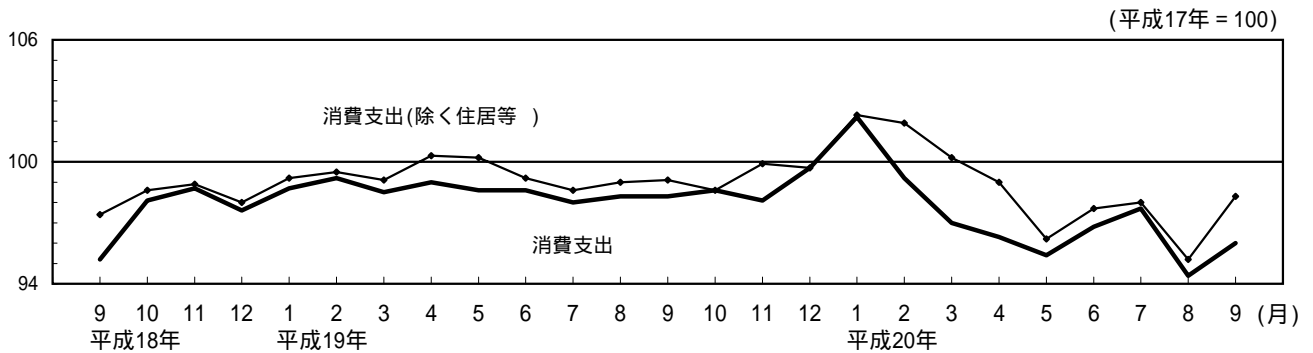
通信	[0.64]	移動電話通信料
教養娯楽サービス	[0.49]	外国パック旅行費,国内パック旅行費
教養娯楽用耐久財	[0.40]	テレビ
授業料等	[0.16]	専修学校,私立高校

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	平成19年				平成20年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費支出	98.3	98.6	98.1	99.7	102.2	99.2	97.0	96.3	95.4	96.8	97.7	94.4	96.0
対前月変化率(%)	0.0	0.3	-0.5	1.6	2.5	-2.9	-2.2	-0.7	-0.9	1.5	0.9	-3.4	1.7
消費支出(除く住居等)	99.1	98.6	99.9	99.7	102.3	101.9	100.2	99.0	96.2	97.7	98.0	95.2	98.3
対前月変化率(%)	0.1	-0.5	1.3	-0.2	2.6	-0.4	-1.7	-1.2	-2.8	1.6	0.3	-2.9	3.3

注 季節調整の方法は、センサス局法(X12-ARIMAのX11デフォルト、管理限界2 ～3)を用いた。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成20年9月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	433,502	0.4	-2.0	-2.0	2か月ぶりの実質減少
世 帯 主 収 入	360,413	-1.1	-3.4	-2.92	2か月ぶりの実質減少
定 期 収 入	357,115	-0.9	-3.2	-2.66	6か月連続の実質減少
配 偶 者 の 収 入	50,740	9.1	6.5	0.71	4か月連続の実質増加
う ち 女 性	50,335	9.5	6.9	0.74	4か月連続の実質増加
他の世帯員収入	11,132	10.1	7.5	0.18	2か月ぶりの実質増加
非 消 費 支 出	74,302	7.7	-	-	4か月連続の増加
可 処 分 所 得	359,201	-1.0	-3.3	-	2か月ぶりの実質減少
消 費 支 出	307,778	-1.1	-3.4	-	3か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	85.7	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値でみると、74.3%で、前月に比べ、3.3ポイントの上昇となった。
		85.8	-0.1		